

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-57

部門名：カリキュラム・マネジメント 実践部門 平成 30 年度 第 4 回中堅教員研修	エントリー名： 青森県東通村立東通中学校 賀佐 誠 平成 30 年度第 4 回中堅教員研修
--	---

活動名：

カリマネによる生徒指導 ～組織的な対応による課題解決～

※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える案件名を記入してください。

解決すべき課題：※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。また、当機構主催研修

終了者は、研修から何を学んだかに触れつつ記載してください。

若手教員が増加し、世代交代をスムーズに行わなければならない中、様々な生徒の対応に追われている。また、本校も初任者から採用 5 年前後の職員が半分を占める。そこで、中堅教員研修で学んだ組織的な PDCA サイクルによる「カリキュラム・マネジメント」で教師、生徒、保護者、関係機関の間でよりよく連携し、学校生活の向上を図りたいと考え設定した。

目標・方針：※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

- ・自治的な生徒会活動と学期ごとの PDCA サイクルによる、居心地の良い学校づくり。
- ・生徒指導部員による、本校いじめ防止基本方針の見直しといじめ対応マニュアルの作成による組織的対応。
- ・適応指導委員会の実施による役割分担された組織的対応。
- ・ケース対応会議における情報交換で関係機関との密な連携と組織的対応。

活動内容：※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

- ・アンケート調査を行い全校生徒の意見を生徒会行事に取り入れ、学期ごとに PDCA サイクルで充実を図る。
- ・生徒会が制定した「生徒心得」のアンケートによる見直しと改善。全校生徒で情報端末機器ルールの策定。
- ・いじめの早期発見・早期対応のための月 1 回のアンケート、SC との連携による P D C A。SOS の出し方講座の実施。教師の SOS の受け止め方講座の実施。いじめ対応マニュアルの作成と組織的な指導・支援。
- ・支援シートを利用した適応指導委員会の実施及び、組織的な PDCA サイクルの充実。
- ・ケース対応会議で保健師、SSW、SC、村教委、小学校と連携し、職員で共通理解と校内組織との連携。

活動の成果： ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- ・生徒の達成感を意識し、褒め称える場面を増やした結果、図 1， 2 の「ア」「イ」の項目の数値が上がった。
- ・生徒総会による話し合い、全校生徒のアンケートによって「自分たちが作ったルール」の意識が高まった。（図 3， 写真 1， 図 5）
- ・SOS の出し方講座を行うことにより、生徒が SOS を出しやすくなった。また、月 1 回の生活アンケートでは生徒の出したサインを見逃さず、学級担任がチャンス相談を行いその対応をアンケート用紙に書き込み保存。保存方法はスキャナーで読み取り、ファイルで 9 年間保存（図 4）。SOS を出した生徒は、学年全体で対応。場合によっては、生徒指導主事と組織的対応。若手教員は OJT により期対応や保護者連携について学んだ。
- ・適宜、適応指導委員会を校長、教頭、生徒指導主事、学年主任、学級担任のメンバー構成で実施。各学級の要支援生徒について童生徒理解・教育支援シートを利用して共通理解、組織的対応ができた。
- ・ケース対応会議の内容を生徒指導主事がすぐに学年主任に報告し、次の方針を立てることができた。また、翌日の職員朝会でも全職員で共通理解して対応し、問題行動を未然に防ぐことができた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：※3～5 つ程度、箇条書きしてください

- ・カリキュラム・マネジメントを生徒指導に生かすことができた。
- ・アンケート関係は全てマークシートのソフトで集計し、事務整理の効率化を図ることができた。
- ・若手や中堅、ベテランの職員が互いに学びながら、生徒指導上の諸問題を未然防止することができた。
- ・生徒は、自分の意見が採用されるという責任感を持ち、生徒会行事に取り組むことができた。

図1 学校生活意識調査

<u>学校生活意識調査</u>				
【調査時期】	平成31年3月	元年7月	元年12月	(○でかこんでください)
【質問項目】 現在の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを右上の1から4の中から一つずつ選び、その番 号の下の○を●に塗って下さい。				
	1 当てはまる	2 どちらかと言え ば、 当てはまる	3 どちらかと言え ば、 当てはまらない	4 当てはまらない
ア 学校が楽しい	○	○	○	○
イ みんなで何かするのは楽しい	○	○	○	○
ウ 授業に主体的に（自ら進んで）取り組んでいる。	○	○	○	○
エ 授業がよくわかる	○	○	○	○

図2 学校生活意識調査集計結果

(2) 割合%		1 当てはまる		2 どちらかと言え、当		3 どちらかと言え、当		4 当てはまらない	
		H31.3月 R1.7月		H31.3月 R1.7月		H31.3月 R1.7月		H31.3月 R1.7月	
		H31.3月	R1.7月	H31.3月	R1.7月	H31.3月	R1.7月	H31.3月	R1.7月
ア 学校が楽しい	1学年	51.7%	47.3%	31.0%	40.0%	10.3%	10.9%	6.9%	1.8%
	2学年	66.0%	72.1%	17.0%	23.3%	14.9%	4.7%	2.1%	0.0%
	3学年	42.9%	50.0%	40.5%	41.3%	11.9%	4.3%	4.8%	4.3%
	全校	53.7%	55.6%	29.3%	35.4%	12.2%	6.9%	4.8%	2.1%
イ みんなで何かするのは楽しい	1学年	70.7%	70.9%	19.0%	20.0%	5.2%	5.5%	5.2%	3.6%
	2学年	63.8%	74.4%	23.4%	20.9%	10.6%	2.3%	2.1%	0.0%
	3学年	64.3%	78.3%	31.0%	19.6%	4.8%	2.2%	0.0%	0.0%
	全校	66.7%	74.3%	23.8%	20.1%	6.8%	3.5%	2.7%	1.4%
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	1学年	39.7%	50.9%	39.7%	40.0%	13.8%	7.3%	6.9%	1.8%
	2学年	42.6%	53.5%	38.3%	41.9%	19.1%	2.3%	0.0%	2.3%
	3学年	40.5%	54.3%	40.5%	32.6%	11.9%	10.9%	7.1%	2.2%
	全校	40.8%	52.8%	39.5%	38.2%	15.0%	6.9%	4.8%	2.1%
エ 授業がよくわかる	1学年	41.4%	47.3%	44.8%	36.4%	6.9%	10.9%	6.9%	5.5%
	2学年	23.4%	27.9%	57.4%	51.2%	17.0%	18.6%	2.1%	2.3%
	3学年	23.8%	37.0%	35.7%	41.3%	33.3%	19.6%	7.1%	2.2%
	全校	30.6%	38.2%	46.3%	42.4%	17.7%	16.0%	5.4%	3.5%

図5 情報端末機器ルールアンケート結果

令和元年度生活改善チャレンジ週間① ～充実したテスト勉強のために～									
※東通中学校9つの情報端末機器ルールについて達成率									
	1 使用時間(22時まで)	2 宿題などやることをやってから使用する	3 使用時間は1日2時間までとする	4 他人情報や悪口をかわかない	5 顔写真載せない	6 勝手に人の写真載せない	7 迷惑な場所利用しない	8 ながら○○はしない	9 勉強中利用×
6月12日 水	80%	78%	84%	100%	99%	100%	100%	90%	81%
6月13日 木	84%	82%	89%	100%	100%	100%	100%	92%	87%
6月14日 金	84%	83%	91%	100%	100%	100%	100%	92%	87%
6月15日 土	71%	75%	73%	100%	100%	100%	100%	93%	87%
6月16日 日	78%	75%	72%	100%	100%	100%	100%	90%	81%
6月17日 月	85%	87%	93%	100%	100%	100%	100%	94%	91%
6月18日 火	88%	89%	95%	100%	100%	100%	100%	94%	94%
6月19日 水	86%	88%	89%	100%	100%	100%	100%	94%	93%

期末テストが6月19日(水)、20日(木)に実施されたので、テスト週間前の帰宅後の様子について調べた。
 東通中学校生徒会が中心となって作成した情報端末機器の7つのルールについて守れているか調べた。
 結果は、昨年度よりも「2と8守った」「やることをやってから使用」「利用時間2時間」にたいする数値が上がっている。休みの日の達成率が低く、勉強でできることを怠ってしまっている。テスト期間中は、スマホなどをすぐ目につくところに置かないで、集中して勉強できる環境を作りましょう。

図3 東通中学校情報端末機器のルール

目標：世界中の人にみられてもいい

〈時間について〉

- ・使用時間は10時までとする。
 - ・宿題などやることをやってから使用する。
 - ・使用時間は1日2時間までとする。
- 〈マナーについて〉
- ・個人情報や悪口をかかない。
 - ・顔写真を載せない。
 - ・勝手に人の写真を載せない。
 - ・迷惑になる場所では使用しない。
 - ・ながら〇〇はしない。
 - ・勉強中は使用しない。

写真1 情報端末機器ルール話し合い



図4 生活アンケート

		該当する項目に、○を塗りつぶして●にして下さい。	
言われる	1 朝のあいさつを毎日心がけた		●
	2 採果中、発表することができた		●
	3 呼ばれた時、返事をすることができた		●
	4 「ありがとうごさいます(ました)」と感謝の気持ちを伝えた		●
行ける	5 勉強道具の忘れ物はなかった		○
	6 自分から進んで部活動に取り組んだ		●
	7 清掃用具の係地末をきちんと行った		●
	8 部活動に積極的に取り組んだ		●
	9 不要物(例 スマホ、ゲーム機、ガム、アメ)を持ち込まなかった		●
	10 情報端末稼働時間(夜)10時、宿題など、1日2時間を守れた		●
	11 情報端末稼働時間(個人)個人情報、写真、書き、場所、ながら、勉強中の利用を守れた		●
	12 安全なスクールバス利用 (座席移動、シートベルト) を心がけた		●
	13 友達と仲良く生活できた		●
	14 私は、いじめられていない		●
好き合う	15 他人をバカにしない生活を送った		●
	16 他人の悪口をネット上にも書き込まなかった		●
	17 自分の持ち物が、無くならなかった		●
	18 仲間はずれにされてはいない		●
	19 友達に陰謀されてはいない		●
	20 ツウにいじめられてはいない		●
	21 友達との関係で、イライラすることはない		●
22 友達に嫌なことをされてはいない		●	
23 自分のはびのびが生活することができた		●	
＜その他＞ あなたから見て、学校生活の様子で、気になることがあったら番号に○をつけて下さい。気になることがなかったら、①に○をつけて、今月の反省点を(勉強、部活動、行事、バス乗車態度などについて)を一言で記入して下さい。 ① 決していじめを他人を一方的に動かし、② 友達がいない ③ 仲間はずれにされた ④ 集団内で無視された ⑤ いじめがせつと電話や手紙を通して ⑥ 持ち物に損じをされた ⑦ 貸したお金を返してもらえない ⑧ お金をとられた ⑨ 男引きをしようとした ⑩ いやいや行為を無理やりされた ⑪ いじめもプロセスを一方的にかけられる。⑫ 衣服を脱がされた ⑬ けんかではなく、一方的にたたかれた。 ⑭ その他() ⑮ 特になし 今月の反省 ⑯ 今月の反省()			